

旭地区地元説明会 議事概要

| | |
|------|---|
| 日時 | 令和7年8月25日(月) 19:00~20:55 |
| 場所 | 地域交流プラザ 研修室 601ABC |
| 参加者 | 地元 旭地区住民 説明側 福井市 福井商工会議所 株式会社 F プライマル |
| 説明概要 | ・次第に沿った形で進行 ・福井商工会議所が配布資料を基に概要説明を行った後、質疑応答を実施 ※配布資料 福井アリーナ(仮称)整備・運営に関する事業計画(案)(概要版) |

質疑応答概要

| |
|---|
| 質問者① |
| <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東公園は多くの子どもや家族連れに利用されていることを認識してほしい。アリーナ建設で彼らはどうなるのかと思う。 ・県民・市利用料(年間約2.3億円)は利用しなくても払われるか。また、30年間継続して払うと人口減で税金収入が減少する中、市の財政を圧迫するのでは。 ・計画には警備費が含まれておらず、利用者負担が増加するのではないか。また、知事も市長もシャトルバスやパークアンドライドと言っているが、県市で負担するのか。運営側にとってはいいが、市民にとっては負担になると思う。 ・国は地域活性化の核となる利益の出るアリーナを推奨しているが、この計画は税金頼みで継続性に疑問がある。 |
| <p>回答【福井商工会議所、Fプライマル】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園の利用状況は認識しているが、広場スペースは確保している。公園がなくなるわけではなく、雨天でも使えるサブアリーナもあり、より活用できると考えている。 ・人口減少社会であるからこそ、中心市街地に人が集まる、地域活性化の核となる施設が必要。 ・これまでのような郊外型で、車で行って帰ってくる施設を整備する形ではダメだと思っている。 ・県民利用、市利用は利用実態に応じて見直されるため「使わなくても取られる」訳ではない。 ・警備費は、原則として興行主(イベント主催者)の負担である。高すぎると使用してもらえないリスクもあり、一部を運営側の負担とすることや、警備業務の手法など関係機関と考えていきたい。 ・シャトルバスの負担も原則興行主である。ただし、輸送力とコストの課題もある。 |

り、最終手段として考えている。

- ・地域の事業者と連携して利益を出す仕組みは、今後、他県の実績のある専門性の高い企業も参画し構築していく。

質問者②

質問

- ・東公園は子ども、家族、高齢者など様々な世代が利用している。
- ・アリーナ建設には反対。価値観の違いであるが、東公園は数億円かければもっと魅力的な場所にできる。
- ・都市公園法第 16 条で民間施設の建設のための変更はダメだという法律規定がある。都市公園法に違反することに関して、無償貸与も含めてにぎわい創生協議会でどう議論されたのか。
- ・事業費が倍増した理由（資材高騰、地元騒音対策）の説明に納得できない。
- ・経済効果 61 億円の算出根拠が不明確。他アリーナや文部科学省が発表しているバスケットボールクラブの経済効果はもっと少なく、14 億程度と考える。
- ・税金投入額（国、県、市）は 30 年間で 190 億円に上ると試算（整備支援 60 億 + 利子補給 20 億 + 運営 80 億 + 除却 30 億）。市民の合意形成が不十分。
- ・全国的にアリーナ整備は 200 億円を超えてくる事例が多い中、150 億円ではできないと考えている。
- ・県民利用枠、市利用について、使わなくても 134 日を毎日支払うという構造であり、実質的な運営補助である。民間に対する運営補助など聞いたことがない。
- ・寄付協賛金を毎年 2 億円集めることが、30 年間本当に続き、本事業が成り立つのか疑問。通常、他事例ではアリーナを公共事業と位置づけ、民間資金を活用する PFI 事業で実施している。SPC という会社を設立し、運営が破綻しないように行政の管理下において、運営をやる形が、国が推奨するシステムである。
- ・福井の場合は民間がやるといいながら、実際は 190 億円の税金をつぎ込む形。90 億円が民間調達ということで、施設そのものがいつか破綻すると考えている。
- ・旭地区だけでなく市民・県民の理解が必要であるが、配布資料は A3 資料 2 枚の概要版だけである。他自治体では、数十ページに渡る資料を HP に掲載し、県民・市民が誰でも意見を言える状況であり、そのための事業計画の情報公開が不足している。
- ・行政側には、ここで議論された内容は議事録として整理し、第三者が見たい場合には提供するようにお願いしたい。

回答【福井商工会議所、Fプライマル】

- ・申し上げたかったのは土地の有効利用の話であり、本格的な公園とすることが有効利用に繋がるということであれば、それはひとつの意見であると思う。
- ・県都にぎわい創生協議会では、都市計画の変更が必要になるという認識で、法律に違反しているという認識ではない。今後、必要な手続きが進められると考えている。
- ・元々、市の文化会館構想の話もある場所であり凍結と何っていた。そのため、にぎわい創生協議会では、文化会館と比較してアリーナは多目的に利用できることから、土地の有効活用という面でアリーナ計画を提案させていただいた。
- ・騒音対策については設計の専門家から十分な対策がなされると聞いている。その結果、費用がかさむ面もあるが、細部の修正もあり高騰全てが騒音対策というわけではない。年間 8% の物価高騰も反映した結果である。

- ・公共事業であれば単年度収支で黒字か赤字かという話であるが、民間事業の場合は減価償却費も含むため、公共事業よりも厳しい収支管理が求められる。行政の単年度収支では、一度整備されると黒字か赤字かも意識されない。そういう意味でも税金投入を減らす工夫に繋がっていると考えます。
- ・県民利用、市利用の話もあるが、地方のアリーナでは行政の施設借上げがなければ事業として回すのは難しいのが実態である。
- ・2億円の寄付については、既に内諾を得ている状況である。
- ・経済波及効果は、産業連関表を基に、桜マラソンなどを基準にイベントごとの来場者数や消費額を掛け合わせ、県全体の効果として算出した。
- ・過去のハコモノ行政の批判が想定される中で、少しでも税金投入を減少させたいと考えた。公共事業として実施すると、もっと多くの経費が必要だが、今回の場合では、民間が90億返済していかないといけない。
- ・他県のアリーナより安価なのは、床面積や設備など福井の身の丈に合った最小限の整備を目指しているため。
- ・事業費高騰は資材費と労務費の高騰も大きな要因。

| |
|--|
| <p>質問者③</p> |
| <p>質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営会社や所有会社の資本金はいくらか。 ・会議所内でこういった方にアリーナの説明をしているのか。 ・会議所から以前説明された「倒産しない会社を作る」という発言の真意は。 ・事業費が膨れ上がっていることや、固定資産税を一銭も払わない計画を立てること自体がばかげている。 ・銀行借入の金利や、ふるさと融資の返済計画など、詳細な資金計画の開示を。 ・これまでに市が実施したボーリング調査費用や交通量調査などのお金はどこから出てくるのか。 |
| <p>回答【福井市商工会議所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営会社の資本金は100万からで検討中である。 ・所有会社の資本金は1,000万円～5,000万円未満で検討中。 ・会議所内には議員という身分の者が約100名おり、議員総会で説明している。 ・「倒産しない会社」とは、当初構想の不動産特定事業法を活用したスキームにおけるSPC（特別目的会社）の場合、出資者の倒産の影響を受けにくいという意味での倒産隔離のことの説明だと思う。説明した際にその場になかったので憶測になるが、SPC自体が倒産しないという意味で説明したのではないと思う。 ・金利は公表を控えるが、無理のない利率を想定している。 ・ふるさと融資は5年据え置き20年返済、金融機関の30億円は30年間での返済計画である。 ・資金繰り表に落とし込み、収入・支出・借入に加えて、運転資金や不動産取得税など年次計画に落とし込み計算をしている。なお、これについては公表を差し控える。 |

・ポイントは金融機関が融資するかしないか、金融機関の厳しい目で事業化できないと判断されれば、融資を受けることができない。

質問者④

質問

- ・説明会参加者が高齢層に偏っており、利用する若い世代の意見がない。
- ・東公園は有効利用されていないように感じる、もっと良い活用法があるはず。
- ・アリーナ整備の目的は20～30年後の福井のにぎわいをということであり、もっと明るく前向きな議論をすべきと思うが、説明会では下向きな意見が多い。実際に利用し、将来の福井をリードする世代の意見を聴くべきと考える。

回答【福井商工会議所、Fプライマル】

- ・次の世代に何を残せるかという視点で考えており、意見に同意する。
- ・高齢者の意見も聞きつつ、世代を超えて新たな楽しみを体験できる施設にしたい。
- ・参加される方が勉強されていて、様々な角度から問題提起していただくことについては、ありがたいと受け止めている。
- ・一方で誤解の招くような意見、実態と相違している発言もあり、懸念もある。疑問に感じる点については、市スポーツ課を通してご意見いただき、顔を見てお話しさせていただきたい。

質問者⑤

質問

- ・イベントによって席数が違うが、入場料収入の考え方はどうなっているか。
- ・音響、振動の影響を懸念しており対策をしっかりとってほしい。
- ・多くの来場者が一気に退場する際の誘導シミュレーションは実現可能なのか。

回答【Fプライマル】

- ・興行により収容人数は変わるものの、入場料収入は興行主の収入である。運営会社の収入は施設使用料であるため、入場者数と運営会社の収入は直結しない。
- ・音響等の影響について、法令を遵守する方向性は変わっていないため、ご安心いただきたい。シミュレーション結果も説明できるタイミングで説明する。
- ・退場時の誘導は、エリアごとの退場案内や警備員・誘導員配置を徹底する方針

質問者⑥

質問

- ・先日まであった福井アリーナのHPが、閉鎖された理由は。
- ・4月に実施されたアリーナ関係の座談会の告知方法、対象者、意見、告知日は。
- ・昨年12月頃に報道のあった東公園周辺での青年会議所の社会実験（音楽イベント）が立ち消えになった経緯は

回答【福井商工会議所、福井市】

- ・計画の詳細は現在、福井商工会議所の HP に掲載している。
- ・4月に商工会議所主催で、まちのにぎわい座談会を開催した。内容はアリーナを核としてにぎわいを創出するために、色々な方から意見をいただいたもの。
- ・会議所 HP で告知し、学生、地元住民、スポーツ団体、商業者など約 30 名が参加し、にぎわい創出のアイデアを出し合った。
- ・告知については準備に手間取り、開催の 1 週間ほど前に会議所 HP で告知した。
- ・社会実験は青年会議所が企画していたが、現状、具体的な話は伺っていない。

質問者⑦

質問

- ・アリーナ建設には基本賛成だが、この場所で 5,000 人規模では無理があるため反対。
- ・小松で計画中の 1 万人規模のアリーナと比較すると、有名アーティストの誘致などで劣る。そのため、使用料の割引きで誘致することになり、採算が合わなくなる。県図書館や下馬周辺であれば、1 万人規模でも採算が取れると考える。
- ・東公園で 1 万人規模だと建蔽率 80%は必要であり、採算が合うのであれば賛成である。これは「1 万人規模でない魅力的なアーティストが来ない」と考える若い世代を総合した意見である。
- ・今から 30 年間生きない方が先頭でやっても「整備してよかった」というありがたい気はしない。今後、税金を払う若い世代の意見を聞き「整備してよかった」という施設になるように進めていくことを要望したい。

回答【福井商工会議所、Fプライマル】

- ・規模感は今までかなり議論してきた。サンドーム（1 万人規模）と競合しないよう、また近隣県の状況も調査しながら検討し、結果的に 3,000~5,000 人規模のアーティスト層にニーズがあると判断した。
- ・駅から近い立地は県外からの集客に有利だと考えている。
- ・MICE の利用日数の増加は既存の催事をアリーナに移行することが目的でない。設備のキャパシティや交通アクセスなどの理由で、これまで福井では開催できなかったものをアリーナで開催したいと考え、利用想定日数を設定した。

質問者⑧

質問

- ・全国で大規模アリーナの整備が進んでいることは、リトルオリンピックを日本全国でやるようなもの。地球温暖化を加速させ、地域活性化、人口流出を防ぎたいなどの目的と根本的に矛盾するのではないか。避けては通れない環境との両立はどう考えるか。
- ・これまでも箱物を作ってきたが人口減少は止まっていない。アリーナが地域の衰退の「切り札」になるという分析はされているのか。

回答【福井商工会議所】

- ・今後の日本経済は産業構造が変化し、サービス化、エンターテインメント化して

いくと考えられる。

- ・ 商業者としてはある程度、人の交流やにぎわいがないと商売はやっていけない。アリーナ整備が交流人口、関係人口の増加につながることを期待している。

質問者◎

質問

- ・ アリーナ敷地や周辺道路の除雪はどうするのか。
- ・ 東公園の周囲の桜は残るのか。

回答【福井商工会議所、Fプライマル】

- ・ 桜並木全部を切ることは考えられないと思う。
- ・ 除雪に関して、ロードヒーティングの導入をある程度検討している。
- ・ 市は駅東口からアリーナまでの歩道の融雪・消雪を検討している。
- ・ 桜は、今後詳細を詰める中で一部計画にかかる部分も出てくる場合、樹木の移設を検討するなど、できる限り残す方向で調整したい。

～ 以上 ～